

行政改革について

今成 信司 議員

行政を推進する意識と心構えについて

質問 これからの激動の時代に対応すべく行政を遂行していくにあたり、部下との協力と信頼関係をつくるための心構えと、みんなをその気にさせ、気持ちをひとつにするための対応は。

答弁 市の組織は職制に

状況は大変厳しいものがあり、課題も山積していることから、市長としての責任の重さを痛感しています。そのため、これまで以上に市民のお力をいただく必要があり。地域を愛する市民の思いにより、それぞれの地域に特色ある歴史が築かれてきました。今後も、こうした市民の力により、豊かな地域資源を生かして、やすらぎとふれあいに満たしたほっとなまちを創り上げていきたいと考えます。

渋川市の良さと今後の姿について

質問 市民と役所の人間、議員と市長が一体となり、この行政を行うことができなければ市の発展はありえないと思います。ふるさとを愛する市民の気持ち、このまちの未来を創造する力になり、このまちを救うことは間違いないと思います。新市長の責任は非常に重くと思います。見解をお聞かせください。

答弁 地方自治を取り巻く

市民目線の行政サービスを

安力川 信之 議員

市長の公約実現の取り組み

質問 税金の無駄遣いの取り組みと、子育てサロンとは。

答弁 行政改革大綱に基づき引き続き徹底した経費削減に取り組みます。また、公民館等で実施している子育てサロンと市子育て支援センターとの関わりを充実

強化していきます。

質問 職員研修として、老人福祉施設などの現場研修に取り組み考えはあるか。

答弁 旧渋川市時代に福祉施設等民間企業での研修を実施してまいりました。実施方法を研究し、効果的な方法を検討したいと考えます。

質問 通学バスと遠距離通学補助などの見直しは。また、子持方式を全市的な取り組みにする考えは。

答弁 義務教育については、保護者の負担を最小限にするというのが基本であると考えています。議会の理解が得られれば、導入していきます。

市民の命を守る取り組み

質問 ヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの公費助成の取り組みは。

答弁 県内で公費負担の市

はなく、また多くの費用がかかるため、当面公費負担は考えていませんが、任意接種での健康被害を考慮し行政措置対応としました。

質問 総合病院の改革プランの実行への取り組みは。

答弁 今年3月に策定した病院改革プランに掲げた目標達成のため、医師招へいなどの取り組みを行っており、今年度も常勤医師を1名採用見込みです。着実に診療体制の充実を図っていきたく考えています。

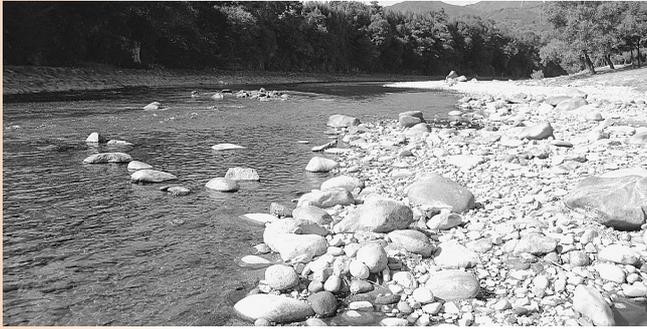


市役所本庁舎



ポリオワクチン接種

一般質問



浅田一敷島地区の利根川

「子は市の宝」といえる施策拡充を

加藤 幸子 議員

質問 新市長は選挙公約で「学校給食は自分の学校で調理します」と市民に公約しましたが現在の考えは。

答弁 自校方式をとっている学校については、それぞれの学校の施設環境を考慮して検討していきます。

質問 「地元の食材で温かいものを食べさせたい」と

地産地消についても公約していますが、お考えを。

答弁 農協や農業団体等と地場産物の確保や種類拡大に向けた協議をし、地場産物の使用を推進します。

質問 地元の安心・安全な食材を使った給食は1000食以下の調理場でなくてはできない。学校給食は公

約どおり自校方式で実施を。

答弁 共同調理場においても給食の安全確保を基本に運営しています。自校方式については検討していきます。

質問 第3子の保育料無料化は子が3人、0歳から6歳までの範囲でしか該当しない。第3子の完全無料化をして子育て支援を。年度途中で失業や離婚等で収入減の場合、保育料の減免・免除の要綱をつくり広報を。

答弁 子育て支援策につい

ては、厳しい財政状況の中ですが、財政の許す限り行います。また、減免等については、現行制度の中できめ細やかな対応に努めます。

質問 就学援助制度の広報はだれにもわかりやすい工夫を。メガネ購入費補助をする考えは。

答弁 今後も広報しづかわや市のホームページとともに、各学校でも周知いたします。メガネ購入費補助については支給される費用の中での対応をお願いします。

新市長に聞く

須田 勝 議員

木暮前市長の継承事業は

質問 継承事業最大の目玉である市町村格差をなくすための橋りょう建設で、赤城敷島く子持浅田間の早期建設の考えは。

答弁 本年度、当該橋りょうについての予備設計を進めています。整備までには関係機関との協議等に一定

期間が必要と考えています。

質問 国保診療所建設にあたり赤城地区にも子持地区同様の福祉バスの運行を。

答弁 全市的な観点から、高齢者の足の確保にどういう方法があるか検討します。

医療と福祉整備は
質問 赤字続きの渋川総合病院の運営はどのような方

法でするのか、また病院内へ夜間診療所の移転の考えはあるか。

答弁 改革プランに基づき病院改革を進めます。夜間診療所とは重症度に応じた役割分担をしており、連携体制を継続していきます。

教育と子育て支援は
質問 少人数、小中学校の統合計画は進んでいるか。

答弁 地域住民の意見も聞き慎重に多面的に検討していきます。

質問 選挙公報での、給食自校方式は実行するのか。

答弁 共同調理場の計画が進んでいることを現実と受けとめ検討していきます。

質問 全市通学バス完全無料化は。

答弁 公平性を保ちながら保護者負担を極力少なくできるように検討していきます。

質問 赤城村時代、幼保一体化の計画があったが市長の考えは。

答弁 保護者等の意見も聞きながら幼保一体化について研究課題としていきます。



自校方式の学校給食はおいしいよ（橋北小）